

# よつば

2019

10

OCTOBER

No. 44

おいし

季節が

やってきたー！

大地育み、幸せつなぐ



<https://aizuyotuba.jp>

# 特集1

# 実りの秋

## がやってきた

「食欲の秋」と言われるように、  
農作物のおいしい季節がやってきた  
実るのは、おいしさ、そして生産者の努力だ

よつば  
10月号  
目次

特集1

03 … 豊かな実りを堪能する秋

いなわしろ天のつぶ  
下郷のブドウ

08 … トピックス

女性部・農青連は拡大版！

組合員資格確認のお願い  
新規組合員、募集中！

21 … 暮らしの味方

動脈硬化ってなんだろう？  
坂下厚生総合病院

18 … 直売所・産直事業  
の出荷しよう！

のうぎょうだいがく

22 … みんなの広場

クロスワード  
理事会だより

20 … 担い手農家の意見が  
JAを上げる！  
～全理事が担い手農家を訪問～

JA自己改革

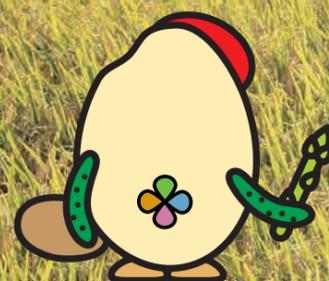
今月も  
このコメナルド画伯  
を探してね！



広報誌9月号の  
わしはここに  
いました！

15ページ  
トピックス4段目

実りの秋、黄金色の稲穂が  
とってもきれいですぞ…♡



JAグループ

耕そう、大地と地域のみらい。 編集/組織広報課 0242-37-2222(代)

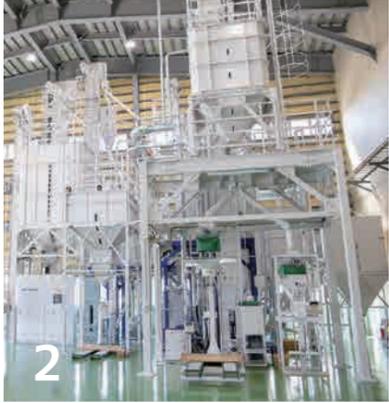
よつば 会津よつば 検索

会津よつば農業協同組合  
〒965-0025 福島県会津若松市蕨町35番地1

# 逆転の発想から生まれる、ブランド米



1



2



3



4

1.「ひとりでは、ここまでできなかった。生産者、町、JAが一体となって作り上げたんです」と話す小林さん。より良い米を作っていきたいねと微笑む。2. 本格的に稼働したライスターミナル。これは均質化装置だ。他にもフレコン専用倉庫、精米装置など設備が揃っている。3. 収穫の時を待つ天のつづ。生産者の想いと秋の日差しをうけてよりおいしく育っていく。4. 目の前には磐梯山がそびえる。磐梯山からの冷涼な空気と水も、ブランド米「いなわしろ天のつづ」に欠かせない。

当JAの部会で、初めてJGAP認証を取得した猪苗代稲作部会。『いなわしろ天のつづ』のブランド化を進めている。昨年5月、同部会の第三者認証GAP推進班がJGAP団体認証を取得。平成28年から本格的に始まった輸出を後押しする。輸出する国は、カタール・アラブ首長国連邦・アゼルバイジャン・香港・スイス・フランス・カナダの7か国・地域。特に、アゼルバイジャン・スイス・フランス・カナダは、相手国からの問い合わせで商談が成立しており、いなわしろ天のつづは世界的に名を馳せてきている。

が特徴。多収米としても知られている。標高は300メートル以下の作付を推奨している。当初からブランド化に取り組むのが、部会長を務める小林文男さんだ。天のつづ263・5アールをはじめとした水稲、トマト、そばなど、農業歴30年、出荷品目は多岐に渡る。「猪苗代町にはもともと、米のブランドとして推進するようになった」と話す小林さん。町内の主力品種はひとめぼれで、天のつづの栽培も、標高500メートルほどになる猪苗代町では不向きと言われていた。町からの打診もあり、新しいものを栽培することに興味があった小林さん。「猪苗代町では昔から、様々な品種を地域になじま

せる農業を行ってきた。せっかく県のオリジナル品種があるのだから、栽培してみよう」と5年前から天のつづ栽培を始めた。生産者・JA・町が連携して振興する『いなわしろ天のつづ』。ブランド化にあたり、多収品種である天のつづを、あえて量ではなく質で勝負することに決めた。高品質で良食味に統一できるように、減農薬減化学肥料栽培マニュアルを作成し、栽培履歴は部会独自のものを使用。町でも独自に美味しいお米コンテストを開催する。全国の食味コンクールにも、部会で助成して積極的に応募し、金賞に輝くことも一度や二度ではない。

ればならない」と意気込む。海外では主に高級寿司米として使用される『いなわしろ天のつづ』。需要にしっかりと応えられる米栽培を心掛けていたため、価格を高く設定しても売り切れる。生産した『いなわしろ天のつづ』はすべてJAが買い取り、売れた分を部会で上乘せして精算する。最近では、ひとめぼれを越すような値段がついているという。今年稼働を始めたJAのライスターミナルでも、選別機能を持った大型機械の導入により、品質の統一を図る。「ライスターミナルも積極的に活用し、利用者を増やしていきたい。生産者の労力を軽減し、担い手の確保につなげていきたい」と話す小林さん。部会を率いる小林さんの瞳には、黄金の稲穂と『いなわしろ天のつづ』の目指すべき姿が映っている。

猪苗代町  
猪苗代稲作部会 部会長  
こばやし 文男 さん

猪苗代町  
猪苗代稲作部会 部会長  
こばやし 文男 さん



小林さんは「高品質のものを高単価で販売し、農家の手取りを増加させることが目標。そのために、生産者は売りやすい米、PRしやすい米作りをしていかなければ

ならない」と意気込む。海外では主に高級寿司米として使用される『いなわしろ天のつづ』。需要にしっかりと応えられる米栽培を心掛けていたため、価格を高く設定しても売り切れる。生産した『いなわしろ天のつづ』はすべてJAが買い取り、売れた分を部会で上乘せして精算する。最近では、ひとめぼれを越すような値段がついているという。今年稼働を始めたJAのライスターミナルでも、選別機能を持った大型機械の導入により、品質の統一を図る。「ライスターミナルも積極的に活用し、利用者を増やしていきたい。生産者の労力を軽減し、担い手の確保につなげていきたい」と話す小林さん。部会を率いる小林さんの瞳には、黄金の稲穂と『いなわしろ天のつづ』の目指すべき姿が映っている。



下郷町  
ブドウ生産者  
ほし よういちろう  
星 陽一郎 さん

チャレンジ続け、  
もっとおいしく

奥羽山脈、那須連邦、三倉山、齋藤山：山々がそびえる麓。下郷町はブドウやリンゴなどの果樹の生産地でもある。

そこで果樹生産する星果樹園の星陽一郎さん。ブドウをはじめスモモ、ブルーベリー、リンゴ、ブルーベリーなどを生産している。父の兵吉さんは下郷果樹部に所属し、栽培はリンゴを担当、ブドウなどの果樹を息子の陽一郎さんが担当している。すべての果樹を合わせる数へクータルにもなる面積を、ほぼ親子二人で管理している。防除は陽一郎さんが一人で担当している。

陽一郎さんは就農して8年目。「実家が果樹園を営ん

でいたこと、地元で働けるということ、果樹園を拡張してブドウを増やしていることやブドウに着手したのがきっかけでした」と話す。

紅伊豆、紫玉、あづましくなどを中心におよそ8種類を生産する。ブドウは兵吉さんより引き継いだ。就農するにあたってブドウの他にも前述の果樹の栽培を同時に始めたという。「果物のリレー出荷というよりは、マラソンみたいな感じですね」と笑う陽一郎さん。その言葉通り、5月から11月まで生産・出荷の繰り返しだ。

ブドウは露地とハウスの両方で栽培し、ブドウが占める栽培面積は115.5アール。その中でも3分の



1. 広がるブドウ棚をみおろす山々。下郷町は標高が高く、年間の平均気温も涼しい、いわゆる寒冷地だ。「何年か作っていると、作物自体がこの土地に順応していくんです。作物の力はすごいものを感じますね」と話す陽一郎さん。2. 父の兵吉さん。リンゴを中心に管理している。「ここは寒暖差が大きいから、果実を作るには適していると思います」と話す。果樹園の果物は、中通り、浜通りのほか、関東圏からも注文があるという。3. お二人が栽培するプルーンやリンゴなどのみずみずしい果実。たくさんの工夫が施されている。4. 一面に広がるブドウ。このほ場だけでも数種類のブドウを栽培し、ほとんど1人で管理する陽一郎さん。昔から植えられているもの、陽一郎さんの代から植えたもの、たくさんのお木々で構成されている。

1 ほどは収穫時期がずれる品種を作っているため、ブドウもリレー出荷が可能だ。摘粒と房づくりで大体同じ大きさに作る。同時に品種によって栽培管理の仕方が違い、細かい管理が必要になる。ブドウに合ったほ場にすするため、もみ殻を利用した土づくりから始め、防除の工夫をしたり苗木を継木したりと、試行錯誤の連続だ。その過程でFGAPも取得した。

栽培方法も試行錯誤の末、生み出したもの。その方法は、ふつう4年で育てるところをハウス栽培で、2年でその状態にする。樹木の負担を考え3年目には4分の1を収穫、4年目に75%、5年目にほぼ100%の収穫を目指す。もちろんブドウの品種によってそのレシピや方法は違うが、同じブドウでも環境によって生育が全然違うところも、おも

しろさの一部だと笑う。試行錯誤の連続だが、管理を工夫して出来上がったほ場に対して「これもまたひとつの成果だと思えます」と笑ったブドウを見上げながら話す。「手もかかるし、生産面でも安定しなくてギャンブルなんですけど、やっぱり作るの楽しいです」と話す陽一郎さん。もっとよりに食べやすい、消費者が求めているブドウを作りたいと意気込みを見せる。

「収穫が終わるころには、ブドウの葉が紅葉するんです。そこに夕焼けが合わさって、一面黄色とオレンジ色になると、ああ収穫が終わったなあと感じ深い気持ちになるんですよ」と話す陽一郎さん。大自然の中で風土や気候に合わせた農業を営む。チャレンジ精神に満ちた若者を、下郷の大自然が更なる成功に導いていくだろう。



げっくんチェックに出演！ 無水カレーを披露！

8月29日に放送されたテレビユー福島の「げっくんチェック」に、みどり地区の女性部員が出演しました。

調理の際に女性部員が出演し、水いらずのおいしい夏野菜カレーの作り方を披露。トマトの甘漬けやいも床で漬けた茄子漬けなどの料理を作りました。

中嶋絵美アナウンサーは「カレーはトマトの味がぎゅっと凝縮されていて、夏野菜もとてもおいしいです」と絶賛しました。



フラワーアレンジ 十人十色の作品が完成

9月18日、猪苗代町のあいづ東部宮農経済センター会議室で、猪苗代支部フラワーアレンジメント教室が行われました。

この教室は毎年行われ、講師には「徳江生花店」の安藤美和さんと小野加奈さんをお招きし、お彼岸用に洋ユリ、小菊など季節の花材でフラワーアレンジメントを造りました。

にぎやかなムードの中、皆さん真剣な眼差しで彩りを考えて造り、どう手直しをしたらよいかなど積極的に質問していました。



テーブルマナー再認識！

熱塩加納支部は7月9日、猪苗代町のリステル猪苗代で、支部研修としてテーブルマナー教室を行いました。

部員22名が参加し、リステル猪苗代のスタッフを講師に基本のマナーのほかにも、フランス式とイギリス式のマナーがあることを教えていただきました。

部員の中には「テーブルマナー講座」に度々参加している方もいます。食器を下げてもらうタイミングや料理の説明を真剣に聞いていました。

特製豚汁に参加者笑顔

9月21日、星野リゾートアルツ磐梯で2019ロードスターミーティングin磐梯町が開催され、女性部磐梯支部が出店しました。

11名が参加し、無料の豚汁提供や、手作りシフォンケーキ、野菜などの販売が行われ、多くのお客様でにぎわいました。

参加者からは、「とても美味しい豚汁でした」と絶賛の声をいただきました。



みどり女性大学 フラダンスで健康増進

9月6日、みどり女性大学は旧みどり地区本部2階会議室で、フラダンス教室を行いました。

新鶴地区にある「アハロヌイ・フラスタジオ」の板橋ミナ子さんを講師に招き、基本的な動作から最後は曲に合わせて、フラダンスを踊りました。

参加した女性部員からは、「途中で辛くなるかと思ったが、ひざ・腰も痛くならず感動しました」や「一度ではためだから教室に通ってみたい」との声が上がりました。



交流会で親睦深める 笑顔でウォーキング

J A女性部協議会は8月24日、部員の親睦と交流・健康増進を目的に、会津坂下町の会津自然の家で交流会を開きました。今年で4年目となる交流会に、各地区より女性部員172名が参加しました。

交流会では、健康ウォーキング、保冷剤を使った芳香剤づくり、認知症サポーター養成講座が行われました。参加者は「普段話せない他地区の部員と交流が出来て楽しかった。認知症についての寸劇もリアルでとても勉強になりました」と話しました。

〈広報通信員 田島宮農経済センター 五十嵐善也〉



支店職員とボウリングで交流

9月11日、喜多方市で塩川支店と塩川宮農経済センターの職員、塩川支部の女性部員あわせて30名が参加し、交流会を行いました。女性部員拡大や職員との交流を目的に毎年開催しており、今年は初めてボウリングを行いました。

女性部員と職員の混合チームで豪華景品を目指し、プレイしました。ストライクやスペアが出ると、ハイタッチの連続。惜しい場面でも、度々歓声が上がりました。親睦が深まった楽しいひとときとなりました。

〈広報通信員 塩川支店 竹田璃央〉



館岩幼稚園夏まつり

館岩幼稚園では、9月2日に夏まつりが開催され、館岩支部の皆さんで、園児たちが施設内で栽培・収穫したジャガイモを使ってカレーを作りました。

この夏まつりは、同幼稚園の毎年恒例行事で、園児たちがお化け屋敷のお化けに扮したり、模擬店を開いたりして楽しんでいます。

館岩女性部の皆さんも毎年園児たちのお昼ご飯づくりに協力し、夏まつりを一緒に楽しんでいます。

部員は、「園児のカレーを頬張る姿に自分たちも元気が湧き、いきいきとしました」と話しました。

〈広報通信員 田島宮農経済センター 五十嵐善也〉



田んぼの大切さを実感



7月6日、西会津町の奥川みらい交流館で、田んぼの生き物調査が開催されました。放課後子ども教室実行委員会と西会津支部などの団体が協力。昨年の3倍となる93名が参加しました。

今年は、全農ビジネスサポート(株)の山崎敏彦さんが、田んぼの大切さについて解りやすく教えました。お昼には、同支部の盟友が育てた米で作ったおにぎりや、地場産野菜を使った豚汁がふるまわれました。

星敬介支部長が「皆さんに町のお米や野菜を食べて農業を応援してほしい」と話しました。

園児たちが泥まみれで収穫



猪苗代支部は8月29日、猪苗代町のさくらこども園で野菜の収穫体験を行いました。盟友8名と農業体験で盟友のもとに訪れていた大学生8名が園児と一緒に参加しました。

園児たちは、ジャガイモや小菊カボチャ、スイカなどを、顔に泥を付けながら一生懸命に収穫しました。園児からは、「なんでこのカボチャは色が違うの?」など、様々な質問が挙がりました。

盟友たちは「とてもいい野菜ができた。園児たちが喜んでうれしい」と話しました。

小学校でバケツ稲講座



坂下支部支部長の猪俣正彦さんは、7月16日に坂下南小学校でバケツ稲講座を行いました。坂下南小学校と坂下東小学校では毎年、農業学習体験としてバケツ稲を栽培しています。

猪俣さんは坂下南小学校を訪れ、稲の生育を確認後、児童たちに今後の稲の管理について指導しました。後日、会津坂下農業普及所の横山健さんを講師に坂下東小学校でバケツ稲の指導が行われました。

猪俣さんは「しっかり観察して枯れないよう育ててほしい」と話していました。

児童が生き物調査 盟友たちと共に



新鶴支部は7月5日、会津美里町立新鶴小学校の5年生28名を対象に、生き物調査を行いました。

児童たちは小学校周辺の用水路や田んぼから、ザリガニやドジョウなどの生き物を採取しました。また、アカハライモリやコオイムシなど珍しい生物も発見し、「とても楽しかった」「田んぼの生き物を知れて良かった」と大いに盛り上がりました。

同支部長の新國雅文さんは「今回を機に、田んぼや農業に興味を持ってくれたら嬉しい」と話しました。

都内で販促活動



8月31日、横浜市鶴見区の「鶴見銀座商店街」で、会津若松支部が販促活動を行いました。

農業の活性化を目的に毎年行われており、今年で3年目を迎えます。会津の農産物を若手生産者自らPRします。

鶴見銀座商店街では毎月最終土曜日に「ドット来〜い!!」というフリーマーケットが行われており、なかでも8月は大勢の来場者が集まります。

参加した盟友は「地元が福島県、会津という方が予想以上にいてエールを頂けてうれしかった」「また来てくださいの一言でやりがいを感じた」と話しました。

いらっしゃいませ!



カップル1組誕生 町をPRしながら婚活を



高田支部や会津美里町商工会などで作る実行委員会は8月24日から25日にかけて、婚活イベント「mis@toコン会津2019」を開催しました。

伊佐須美神社で対面、米粉ケーキのデコレーション、本郷焼の皿づくり、ブドウ収穫など、地元を満喫するプログラムの体験。農青連の盟友が育てた米で作ったおにぎりがふるまわれるなど、会津のおいしさも堪能しました。開催7年目を迎えた今年は、1組のカップルが誕生しました。

地域の小・中学生 農業に触れる



只見支部盟友の新國真也さんは9月12日、只見小学校と只見中学校の農業学習を受け入れました。

新國さんは、南郷トマトの生産工程を説明し、ほ場で育てているトマトを観察しながら指導しました。

子どもたちからは、「トマト1個いくらか?」や「傷ついたトマトはどうなるのか?」と様々な質問が挙がりました。

新國さんは「都会のスーパーにも南郷トマトは並ぶので、ぜひ探してみしてほしい」と話しました。



親子で田んぼを調査

喜多方市、生産者、生協、JAなどで構成する「環境にやさしい農業推進協議会」は8月3日、同市の熱塩加納会館で田んぼの生き物調査を初開催しました。

熱塩加納支部の山口潔さんのほ場で行われ、全農ビジネスサポート(株)の山崎敏彦さんが、田んぼに住む生き物について説明しました。

お昼には、山口さんの米で作ったおにぎりがふるまわれました。

参加した親子は「自由研究にと思い参加した。おにぎりもおいしかった」と話しました。





▲テープカットを行う関係者

**自己改革**

J Aでは、昨年9月に着工した猪苗代ライスターミナルが完成しました。9月2日に落成式が行われ、関係者など約40名が出席しました。

施設の稼働により、生産者の高齢化や集落営農を始めとした課題に、労力軽減となるフレコン出荷に対応します。また、均質化装置、精米施設によるGAP、HASS APなど、白米ブランドの販路拡大も目指します。

長谷川正市組合長は「猪苗代稲作部会のJGAP米といわゆる天のつぶの輸出米を今まで以上のブランド米として確立させ、農家所得を向上させたい」とあいさつしました。

### さらなる品質向上へ 猪苗代ライスターミナル落成

▶ 協定書を交わした磐梯町の佐藤淳一町長（左）とJ Aの長谷川正市組合長（右）

▼ 子会社は燃料部門で締結



### 磐梯町と協定締結 災害時に支援します！

J Aと磐梯町は9月3日、「災害時における物資の供給に関する協定」を締結しました。会津よつばとしては初めてで、NPO法人コメリ災害対策センター、同町の道の駅を運営する株式会社社会津嶺の里と連携し、災害時の迅速な対応を目指します。

地震や豪雨、火山活動などの自然災害が発生した場合、要請があったときには物資を提供します。J Aは米を主とする農産物や取り扱う日用品を供給します。東日本大震災時には、J Aが米を提供し災害復興の一助を担いました。長谷川正市組合長は「組合員や地域を守ることにつながるので、積極的に支援して、地域貢献していきたい」とあいさつしました。

9月1日に発足したJ Aの子会社である、株式会社J A会津よつば総合サービスは燃料部門で同協定を締結し、9月27日に締結式を行いました。

いいで地区では8月24日、会津若松市のナリ会津カントリークラブで、第4回組合長杯ゴルフ大会を開催しました。組合員や市場・全農などの関係団体ら140名（内女性5名）が参加し、各コースに分かれてプレイしました。喜多方市の渡部力さんが総合優勝し、同市の佐藤由美さんが女性の部の優勝者となりました。

大会後は、喜多方市の七福神ホールで表彰式を行い、廣瀬雅彦専務が優勝者2名にトロフィーを手渡しました。

〈喜多方支店 三浦崇〉



▲優勝した渡部さん（左）と佐藤さん（右）

### 喜多方の渡部さん総合優勝 いいで地区ゴルフ大会



▲集荷した天王柿をフレコンバッグに詰め替える関係者

J Aは9月2日から20日にかけて、会津美里町で栽培する天王柿の出荷を行いました。良質な渋を採取し、消臭効果のある加工品などに使用します。集荷した天王柿はすべて、京都府の柿渋製造販売業者へ出荷しました。

従来のコンテナ出荷から、今年初めてフレコンバッグでの出荷を行い、出荷最盛期のコンテナ不足を解消。生産組合の福田三郎組合長は「生産者全員が高品質なものを出荷できるようにしていきたい」と意気込みました。

### 天王柿出荷 今年はフレコンバッグで



▲ぜひ、ご賞味ください！

### 南郷トマトが秋をお知らせ 「秋味」発売開始

南郷トマト「秋味」は、夏収穫に比べ、ゆっくり時間をかけて育てるため格段に糖度が高く、旨みがより凝縮されています。出荷は10月末までを見込んでいます。

南郷営農経済センターの営農指導員は「寒暖を乗り越え、生産者の想いが詰まった南郷トマトの味を楽しんでほしい」と話しました。



▲まんま〜じゃでは生産者からジャガイモのプレゼント

### 各直売所でイベント お野菜プレゼント！

管内各地区の直売所では、やさしい日（8月31日）に合わせ、それぞれのイベントを開催しました。

まんま〜じゃ・旬菜館では新じゃがのつめ放題を行い、町の駅ふるさと物産館では野菜の詰め合わせを販売しました。いいで四季では、831円以上お買い上げの来場者にくじを引いてもらい野菜をプレゼントするなど、各直売所で趣向を凝らしたイベントを行い、来場者を楽しませました。

まんま〜じゃの金子誠店長は「やさしい日のイベントは、毎年好評なので来年度も続けていきたい」と話しました。

みなみ地区年友の会グラウンド・ゴルフ大会が9月12日に開催し、177名がスコアを競い合いました。

男性の部は、只見地区の藤公高さん、女性の部は、田島地区の室井君江さんが優勝。また、田島地区の佐藤和雄さん、セイさん夫妻が最高齢賞を受賞しました。

第一打目からホールインワンする参加者もいて、コース上は参加者の歓声や笑い声に包まれました。参加者は「大会が楽しみでJ Aの年友の会に入会している」と話し、事務局は「来年はさらに多くの参加者を集い、大会を盛り上げたい」と意気込みました。

〈田島営農経済センター 五十嵐善也〉



▲元気いっぱいプレー！

### 参加者白熱 グラウンド・ゴルフ

9月10日、会津坂下町にある75号倉庫で、令和元年産米の初検査と初出荷式が開催されました。関係者約100名と、JA公式キャラクター「コメナルド画伯」が出席しました。

関係者が見守る中、JAの指導的農産物検査員11名が、同町で収穫された「ひとめぼれ」を等級検査し、すべて一等米となりました。長谷川正市組合長は「消費者に極上の会津米を届けられるよう、気を引き締めて集荷に取り組んでほしい」とあいさつしました。



▲米を等級検査する農産物検査員

### 「ひとめぼれ」全量一等米に JA米、令和初出荷



▲五十嵐さん(青い帽子)最優秀賞おめでとうございます!

9月12日東京都食肉市場で第6回JA会津よつば牛肉共励会が開催されました。和牛雌3頭、去勢21頭の合計24頭を上場。セリには生産者やJA役員、スマイルガールズが参加。枝牛セリでは「ワッショイワッショイ」という掛け声のもと、活気あふれる共励会となりました。

5頭級15頭、4等級以上が4頭の上物率95.8%と高い評価を受けました。

受賞者は以下の通り(敬称略)

**最優秀賞**  
 (株)五十嵐ファーム(五十嵐健一)

**優秀賞**  
 湯浅英明  
 (株)湯浅ファーム(湯浅治)

**優良賞**  
 大竹広幸  
 (株)湯浅ファーム(湯浅治)  
 (株)五十嵐ファーム(五十嵐健一)  
 土屋伸明

### 会津牛をPR JA会津よつば共励会

### 北会津の農産物集まる フルーツ&フラワー フェスティバル

9月15日、会津若松市北会津町の「やすらぎ広場ホテルの森公園」にて、あいづ西部営農経済センターとあいづ商工会が協賛する、フルーツ&フラワーフェスティバルが開催されました。

北会津産の農産物を広くPRするために、メロンやブドウ・梨を始めとした果物・花・野菜の直売会が開かれ、朝しほりのリンゴジュースが無料配布されました。さらに、ブドウの皮飛ばし大会や米粉ジグザグくり・手前味噌づくり体験会なども開かれ、大いに賑わいました。



▲盛り上がったブドウの皮飛ばし大会

### 坂下支店が優勝・準優勝 組合長杯ゲートボール大会



▲落ち着いたプレイを見せた参加者

みどり地区年金友の会は8月23日、柳津町のすばく柳津ゲートボール場にて組合長杯ゲートボール大会を開催しました。柳津町ゲートボール協会協力のもと、会員相互の親睦と健康増進活動の一環として開かれました。

当日は52名が参加し、坂下A・B・柳津・三島・昭和・金山・新鶴・湯川の8チームに分かれて試合しました。結果は、坂下支店Aチームが優勝、坂下支店Bチームが準優勝、金山支店チームが第3位となりました。

### 農産物検査員 133名に辞令交付

8月26日、会津若松市のルネッサンス中の島で、農産物検査員の辞令交付式が開かれました。今年度のJA農産物検査員は133名うち指導的検査員は21名となりました。

辞令交付式には、長谷川正市組合長や富山裕治常務、検査員88名が出席。あいづ東部営農経済センター経済課の本多伴美職員が代表して辞令を受けました。河東営農経済センターの三輪亮平職員は「適正・誠実に農産物検査を行うべき責務を深く自覚し、職務の遂行にあたります」と宣誓しました。



▲代表して辞令を受ける本多職員

### 楽しく交流 年金友の会ゴルフ大会



▲優勝おめでとうございます!

9月3日、みなみ地区年金友の会ゴルフ大会を開催し、南会津町のたかつえカントリークラブにて年金友の会のゴルフ愛好家35名が参加しました。会員の親睦を深めることを目的に合併初年度から始まり、今年4回目を迎え、年々参加者も増えていきます。

アトラクションホールを数多く設定するなど工夫を凝らした大会に、参加した会員も楽しい一日を過ごしました。

結果は、南郷地区の星昭一さんが優勝、田島地区の湯田秀春さんが準優勝となりました。  
 (田島営農経済センター 五十嵐善也)

### 秋まつりを開催 デイサービスさくら



▲一生懸命練習した踊りを披露する職員たち

9月21日、会津美里町にあるJAの通所介護施設「デイサービスさくら」で秋まつりが開催されました。

会場には、たこ焼き・焼きそばなどの模擬店や、輪投げコーナーなどが設けられました。参加自由のど自慢大会では、地域の方々やボランティアの方が自慢の歌を披露し、大いに盛り上がりました。また、目の前で観る職員よさこい踊りに涙している利用者もいました。

渡部正子施設長は「今年も皆さんに喜んで頂けてよかった」と笑顔で話していました。

### 塩むすび試食で実感 つくばSD2号更なる拡大へ



▲食味の良さに驚き!

JAでは、8月28日に多収品種の米「つくばSD2号」の、普及拡大を目的に栽培説明会を行いました。既作付者や新規作付に興味がある生産者など約30名が参加しました。

説明会では、過去の反収やコンヒカリとの収益性の比較など導入のメリットを説明。つくばSD2号を使用した塩むすびの試食も行われ、参加者は「多収品種でも食味が良い」と食味の良さを実感していました。

今後、米販売業者、生産資材業者と連携して現地指導会、実績検討会なども実施していきます。

### ～ 組合員の皆さまへ 組合員資格確認について(お願い) ～

当JA組合員の皆様におかれましては、組合員届出事項や組合員資格要件に変動が生じた場合、定款の定めるところにより、速やかに書面にて届出いただくことになっております。下記のような変動があった場合には、お手数ですが最寄りの当JA各支店にてお手続きいただきますようお願い申し上げます。

#### <主な変動事由>

- (1) 組合員がお亡くなりになられた場合
- (2) 当JAに届出している基本情報(姓、住所等)が変更になる場合
- (3) (2)のうち当JAが管理する地域以外に転出する場合
- (4) 職業として新たに農業に就農した場合、もしくは離農した場合(※組合員資格変更届)



#### 【当JAの組合員資格】

##### ●正組合員資格

- (1) 10アール以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地又は施設がこの組合の地区内にあるもの。
- (2) 1年のうち90日以上農業に従事する個人であって、その住所又はその従事する農業に係る土地又は施設がこの組合の地区内にあるもの。
- (3) 農業を営む法人(その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。)であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの。

##### ●准組合員資格

- (1) この組合の地区内に住所を有する個人で、この組合の事業を利用することが適当と認められるもの。
- (2) この組合の信用事業、または購買事業、または販売事業、または共済事業を1年以上継続利用している、組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの。
- (3) この組合の地区外に住所を有する個人で、購買事業、または運搬・加工・貯蔵及び販売事業、または当組合が管理する特例農地を1年以上継続利用し、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの。

※当JAの地区は、福島県会津地方17市町村全域となります。

### ～ 組合員家族の皆様、協同組合の仲間になりませんか ～



JA会津よつばでは、総合事業(信用・共済・指導・経済事業など)を通じて「地域農業」・「地域の経済」を盛り上げていく仲間づくりを進めるため、これらの事業・活動を利用し参加していただける「組合員加入促進活動」を実施しております。

現在、JAの各種事業をご利用いただいている方や、組合員のご家族で組合員になられていない方の新規加入をお願いいたします。

##### ●ご加入と出資金について

組合員に加入するには、1口1,000円からの出資が必要です。出資金は協同組合が事業(協同活動)を行う元手となります。

組合を利用される皆様の意見を反映し、一人一人の要望により多く答えるための大切な資金となっています。

##### ●組合員加入のメリット

- (1) いろいろな事業で暮らしをサポート  
貯金、ローン、共済など将来の備えをご提案します。農業に必要な栽培技術指導や営農相談、購買事業や介護事業などもご利用いただけます。
- (2) 配当金のお支払  
出資額に応じた出資配当金をお受け取りになれます。
- (3) 各種検診の受診料が優遇されます。
- (4) あなたの声をJA事業・運営に反映することができます。



組合員・出資に関するご相談は、お気軽に最寄のJA各支店へ

### おいしい秋を満喫して あぐりかふえ新メニュー

あぐりかふえCsに、10月より新メニュー「鮭と秋野菜のスープクリームバスタ」味噌クリーム仕立てと「あぐりのハッシュドポーク」が登場しました。どちらも旬の農産物をふんだんに使用し、サラダビュッフェとスープがついて1000円、12月までの3か月限定です。加えて、今回のメニューから、会津産の新米の提供を開始しました。



秋を満喫できる新メニューです！  
(右:スープクリームバスタ、  
左:ハッシュドポーク)

### 共済ロールプレイング県大会 職員2名が奨励賞



▲笑顔で接客する三星職員(右)と渡部職員(左)

9月11日、福島市のJA福島ビルで共済スマイルサポーターのロールプレイング県大会が開催されました。7月のJA内の予選から選ばれた、塩川支店の三星紗織職員と猪苗代中央支店の渡部莉菜職員が出場し、奨励賞となりました。2名とも共済の窓口担当として、利用者からの感謝の言葉を励みに日々の業務に取り組んでいます。惜しくも上位入賞とはなりませんでしたが、審査員からは、笑顔の接客が高評価となりました。

### 応援ありがとうですぞ！ ゆるキャラ®グランプリ出場

JAの公式キャラクター「コメナルド画伯」が、「ゆるキャラ®グランプリ2019」に参加しました。管内農産物、地域の認知度向上・PRするために出場しました。お米の妖精「コメナルド画伯」は管内の農産物でできています。JAの公式ツイッターなどのSNSを通して管内の情報を発信し、県内外へのPR活動をしています。コメナルド画伯は「会津の魅力をとくさんの人に伝えられましたぞ！応援ありがとうですぞ」と話しました。



▲出場をPRしたコメナルド画伯と職員

### 調停相談会

ご相談内容が外部にもれることはありません。安心してご相談ください。

- と き 令和元年11月27日(水) 9:00~18:00 (17:00受付終了)
- と ころ 会津若松市文化センター(☎0242-26-6661)
- 費 用 無料
- 内 容 相続・遺産分割、土地・建物の紛争、損害賠償など
- 申込み方法 当日会場受付
- 問い合わせ先 福島地方裁判所会津若松支部庶務課 (☎0242-26-5725)

詳細は、お近くの支店にあります黄色のチラシにてご確認ください。

### 軽減税率を学ぼう！ 担い手農業者セミナーを開催します

- 日 時 令和元年11月18日(月) 13:30~
- 場 所 JA会津よつば 坂下本店 3階 パストラルホール
- 内 容 消費税軽減税率について
- 申込方法 最寄りの営農経済センターへお申込みください。
- 申込締切 令和元年11月8日(金)

※100名程度の定員で考えております。先着順になりますので定員になり次第締切いたします。

# 直売所・産直事業に出荷しよう！

## 会津産直とは？

イメージは県外のスーパーの中に会津の直売所を設置するイメージです。  
現在は埼玉県を中心に151店舗を展開する株式会社ヤオコーと東京都を中心に59店舗を展開する東武ストアの2社へ出荷しています。

## ～会津の味を届ける会津産直事業～

産直コーナーのコンセプトは「会津を思い描ける農産物を届けたい」です。生産者一人ひとりが事業の独自規格（市場規格にこだわらない）で商品化します。産地を想像させるコーナー作りを産地と店舗が一体になって実現しています。現在、170品目以上の多彩な商品をお届けしています。商品は毎日入れ替えて鮮度管理の徹底を行っています。

短い出荷期間の中で一日あたりの最大出荷量は2万点超え！

**9割以上の販売率で、店舗における廃棄品は2%以下となりました!!**

※販売率  
出荷時点の販売額に対し店舗で売れた金額  
※廃棄品  
出荷時点の出荷量に対し廃棄された品数

## 平成30年の実績

会員数	356	名
販売期間	7月～10月末	
実施店舗数	133	店舗
商品アイテム	174	種類
販売額	約2億円	

産直事業の出荷規格には市場や直売所規格にはない「さすけねえシリーズ」があるんだよ！

## さすけねえシリーズとは？

会津の方言で「問題ない」ということ。産直規格における「さすけねえ」はちょっと見た目が悪くても味はまったく問題ないよ！をお届けするお買い得なシリーズです。「さすけねえキュウリ」や「さすけねえトマト」など、さすけねえシリーズは現在7品目あります。



9月号でも紹介しましたが、「子供タウンふれあいの旅」で子どもたちが産直野菜を対面販売しPRしました。



**直売所・産直事業へのご参加、お待ちしております！**



いろいろな野菜を出荷できますよ！



J.A.には、市場出荷の他にも直売所や産直といった農作物の販売方法があります。今回は、直売所「まなま〜じゃ」と、主にみどり地区・みなみ地区で行われている産直事業について紹介します。

## ～直売所の出荷不足品を見てみよう！～

まなま〜じゃ出荷不足品 ベスト8					
3月	4月	5月	6月	7月	8月
花束	花束	花束	花束	花束	花束
いちご	いちご	いちご	ピーマン	カブ	トウモロコシ
キュウリ	カブ	人参	さくらんぼ	ほうれん草	大根
大根	ニラ	ピーマン	人参	小松菜	レタス
ニラ	セロリ	キャベツ	メロン	みょうが	キャベツ
ねぎ	キュウリ	りんご	しそ	大根	キュウリ
ブロッコリー	ねぎ	ブロッコリー	ほうれん草	ブロッコリー	ぶどう
セロリ	大根	ねぎ	りんご	水菜	ほうれん草
9月	10月	11月	12月	1月	2月
花束	花束	花束	花束	花束	花束
人参	人参	玉ねぎ	玉ねぎ	いちご	いちご
大根	玉ねぎ	キュウリ	ブロッコリー	ブロッコリー	玉ねぎ
レタス	きのこ	トマト	キュウリ	玉ねぎ	キュウリ
かぶ	トマト	なす	ニラ	キュウリ	ニラ
なし	りんご	ニラ	小松菜	小松菜	ブロッコリー
白菜	大葉	大葉	ミニトマト	ミニトマト	レタス
キャベツ	水菜	人参	干し柿	ニラ	さつまいも

年間を通じて花束が不足しています！

いちごは一朝一夕に作れる品目ではありませんが、人気の品目です。まだまだ出荷してほしい品目です。

果物は年間を通じて人気があります。

のうぎょうだいがく

今月の先生

氏名 大竹 弘樹  
部署 園芸部 園芸課

**注意!!** 出荷の盛りからずれる品目は不足する傾向にあります。しかし、栽培期間をずらすと病害虫の影響を大きく受ける可能性があり、農家リスクは高まります。

**例** とうもろこし  
(お盆すぎると需要も減りますが、それ以上に出荷数が少なくなります)  
きゅうり  
(お盆頃需要数が高まりますが、春播種の分が終わりになりちょうど端境期を迎えます)  
玉ねぎ  
(秋に定植し初夏に収穫するモノが、10月頃に品切れとなります。春定植の秋収穫ができれば売れ筋になりそうです)



## 動脈硬化って何だろう？

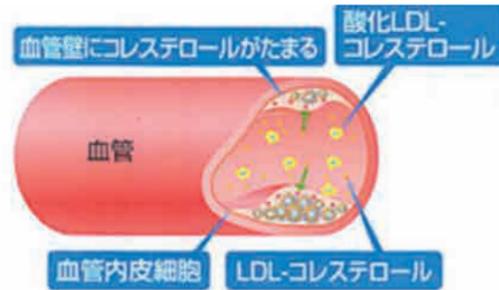
坂下厚生総合病院 検査科 小林 修一

皆さんが一度は聞いたことのある‘動脈硬化’について説明いたします。

動脈硬化とは字のごとく、動脈という血管が硬くなることをいいます。病名ではなく、あくまでも血管の状態のことを指します。

### なぜ、動脈硬化が起きるのでしょうか？

それは、右図のように動脈の内側の膜（内膜）の中にコレステロールが蓄積し、次第に脂肪分が沈着して血管の弾力性を失い、内腔に血栓（血のかたまり）ができ、血液の流れが悪くなります。血液の流れが悪くなると、その先の細胞が死んでしまいます（壊死）。すると心筋梗塞などのように初めて症状が出てきます。症状がでるまでは、痛みもなく進んでしまうことを覚えておいて下さい。



### どんな病気になるのでしょうか？

- 心臓・・・心筋梗塞、狭心症
- 脳・・・脳梗塞
- 血管・・・大動脈瘤
- 腎臓・・・腎梗塞
- 手足・・・壊死



### 動脈硬化の検査は、どのようなものがあるのでしょうか？

#### <採血>

健診で実施する脂質項目（4項目）

- 1) 総コレステロール（Tcho）
- 2) 悪玉コレステロール（LDL）
- 3) 善玉コレステロール（HDL）
- 4) 中性脂肪（TG）

#### <採血以外>

血管内超音波検査（頸動脈）・血圧脈波・CT・MRI他

#### 脂質異常症診断基準（空腹時採血\*）

LDLコレステロール	140mg/dL以上	高LDLコレステロール血症
	120～139mg/dL	境界域高LDLコレステロール血症**
HDLコレステロール	40mg/dL未満	低HDLコレステロール血症
トリグリセライド	150mg/dL以上	高トリグリセライド血症
Non-HDLコレステロール	170mg/dL以上	高non-HDLコレステロール血症
	150～169mg/dL	境界域高non-HDLコレステロール血症**

（動脈硬化学会で推奨する基準値）

### 予防するには？

#### 1) 適度な運動をしましょう

ストレス解消を兼ねて、適度な運動をしましょう。運動は肥満解消だけではなく、運動を継続することで、善玉コレステロールが増えることがわかっています。

#### 2) バランスのいい食事をとることに心掛けましょう

食べ過ぎに注意し、栄養バランスのとれた食事をしましょう。野菜、海藻類のほか、いわしやさばなどDHA・EPAを多く含む青魚など摂取するようにしましょう。

◎年に1～2回の健診を行い、何か体調に異変を感じたら早めに医療機関を受診しましょう。

坂下厚生総合病院

〒969-6556 福島県河沼郡会津坂下町字逆水50番地 TEL 0242 (83) 3511

# JA自己改革

Vol. 18

## 担い手農家の意見がJAを作り上げる！

～全理事が担い手農家を訪問～



▲南会津町の担い手農家を訪問する五十嵐伸人理事

▼南会津町の担い手農家を訪問する菅家 淳理事

▲猪苗代町の担い手農家を訪問する小林利一常務理事（右下）と担い手担当の渡部恒弘職員（左下）

## Point

**全理事が、担い手農家を訪問。全理事が一斉に訪問活動を行うのは初めてです。地域の農業を担う皆様から意見や要望を伺いました。今後も継続して実施します。将来を見据えた意見交換の場が増え、集約した意見はJAの経営に反映されます。農家とJAが一緒になって、より身近なJAを目指していきます。**

当JAの全理事46名は、担い手農家への訪問活動を行っています。JA自己改革の取り組みを伝え、地域農業の主体者である担い手農家の意見や要望などの熱い思いを聴き、今後の経営に反映します。8月に初めて全理事が一斉に、担い手農家訪問に取り組みました。これからも定期的な実施を継続します。

地区出身理事が各営農経済センターと連携し、同行訪問しました。訪問先から集めた意見や要望は本店で集約し、理事会などで共有後、経営に反映されます。

担い手農家の皆様からは、営農指導員を主とした職員教育の充実や農畜産物の販売促進、農家の所得向上、農家の後継者不足や担い手不足についての意見や要望をいただきました。

担い手農家は、今後も農地の集約や規模拡大など、地域農業の基盤を支える組合員です。そのため理事が訪問する際には、現状の課題や要望だけではなく、5年後、10年後を見据えた意見交換も行っています。

# みんなの広場

コメンアルド画伯が紹介



Twitter @Komenardo  
Facebook JA会津よつば 公式 Facebook

## 文芸のひろば

秋空や 菊にコスモス 競い咲き  
風波鳴らす 黄金稲穂  
昭和村 栗城 ツキ子

保育所の 孫の運動会にきて  
拍手をおくる 一等賞に  
南会津町 大竹 幸一

五時 静かに九月の 朝がきた  
こおろぎが一匹 鳴いている  
柳津町 菊地 義隆

夏まつり 打ち上げ花火 大夜空  
大輪の花 消えないでいて  
会津若松市 馬場 紋子



▲ モーターポット  
大山 桃一 (只見町)



◀ 双子のカボチャ、  
とてもおいしいです  
サチコ  
(会津坂下町)



▲ おすもうさんの土俵入り  
山内 忠  
(会津美里町)



▲ 一本が十本に……！  
柴 滋  
(会津若松市)



◀ 不思議な形だ！  
匿名希望  
(会津美里町)



▶ ナス3兄弟♪  
金田 京子  
(会津美里町)



会津坂下町  
大竹 智恵子



南会津町  
馬場 忠子



## 今月の絵手紙



南会津町  
平野 ツル子



喜多方市  
小熊 千恵子



会津坂下町  
西村 照子



西会津町  
斉藤 ノイ

## みんなの広場 お便り大募集

8月号応募総数 183通 ハガキ107通、メール26通、  
俳句のみ50通、うち正解者133通

このコーナーではみなさんの声をお待ちしています！  
写真やイラスト、川柳や短歌、おもしろ野菜、手芸など  
なんでも募集します！

【宛先・お問い合わせ】  
総合企画部 組織広報課 TEL0242-37-2450  
メール：info@aizuyotuba.jp  
〒965-0025 会津若松市扇町35-1  
JA 会津よつば みんなの広場係



注意事項  
○誌面の都合上、投稿いただいた作品のすべてを掲載できません。  
○掲載にあたりペンネーム希望の方はご記載ください。  
○投稿いただいた作品は返却いたしません。また、お送りいただいた作品(絵  
手紙・写真など)の著作権はJAに属します。  
○ご投稿いただいた内容は、意味などを変更しない範囲で校正させていただ  
く場合があります。あらかじめご了承ください。  
※各地区の広報誌配布時期により、掲載月が前後する場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

「よつば」9月号  
クロスワードパズル答え

## オミナエシ

ト	カ	ケ	カ	オ	リ
イ	エ	ダ	ガ	ツ	キ
シ	カ	イ	ト	ツ	
カ	リ	ツ	ミ	レ	ド
リ	ク	ヨ	ツ	ト	
ウ	ン	ド	ウ	サ	シ
ム	シ	キ	ト	リ	オ

当選者はプレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます



イモの動物園  
坂内 臣江  
(会津美里町)

◀ヘビのような形の  
ナスできました  
山内 豊子  
(南会津町)



ナスの3ツ子で一す  
玉村 富士子 (南会津町) ▼



▶ さつまいも12  
きょうだいです  
高畑 郁子  
(会津坂下町)



▲40年ぶりにサトイモの  
花が咲きました  
居倉 美智子  
(南会津町)

## 今月のおもしろ野菜



